

# Z会進学教室 葛西通信 5月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室の先生の声をお届けします。

「葛西駅、むかし空中・海の中。川って結構変わってきてます」

英語科 太田章弘先生

初めまして、太田章弘と申します。令和5年度から、こちらで1Vの英語を担当しています。

東京都の西の方で育ち、現在もそちらに住んでいます。葛西へは西武新宿線で高田馬場へ出て、そこから地下鉄東西線に乗って来ています。南砂町の駅をすぎて地上に出ると、荒川の広さに驚かされます。また葛西の駅を出て横断する環状七号線がとても広い。西武新宿線も環七と交差しますから、そこでの道幅を見た後に葛西に来ると、同じ道路とは思えない幅の差があります。



葛西教室のあるこの広い東京都の低地（ここでは東京低地と呼びます）と、そこを流れている川について書いてみたいと思います。

東京低地は、西の武蔵野台地と東の下総台地に挟まれた地域で、10～15キロメートルの幅があります。東側の下総台地との境界線は江戸川です。西側の武蔵野台地との境界は、大まかに言えば京浜東北線です。赤羽から田端を通して上野までは、線路は台地の崖の下を走っています。田端や日暮里の駅はホームの西側が高い壁になっていて、崖下であることがよくわかります。上野から南では台地の東端は京浜東北線よりも西側になっています。田町と品川のあいだから大森までは、再び線路が台地の東端の坂下を走っています。

この大きな低地を流れて海に注いでいる主な川は、現在の名前で言えば、西側から隅田川、荒川、中川、新中川（河口は旧江戸川）、江戸川です。これらの川と海面の高さの変化によって東京低地は形成されました。

今から2万年前は、7万年前に始まった前回の氷期の最終段落で、海面は現在よりも120メートル位低かったようです。現在の東京湾に流れ込んでいる先の5つの川も、ひとつの川として台地を削り、深い谷を作りながら、遙か先の低い河口（現在の東京湾の出口のあたり）まで流れていきました。その後、1万年前に氷期が終わり、急速に海面が上昇しました。現在よりも高くなり、東京都の海岸線は先に述べた武蔵野台地の東端と下総台地の西端になりました。海は川沿いに北上して渡良瀬遊水地（埼玉、群馬、栃木、茨城の4つの県境が集まっている所）あたりまで達していました。ここまでは江戸川の河口から60キロメートルあります。下流の東京側から見ると上流は標高が高いように思えますが、関東平野は内陸の方に低い所があります。関東平野は渡良瀬遊水地を「底」とした「お盆状」の地形をしています。

川は運んできた土砂を河口近くに堆積させていきますから、海面が現在の高さまで下がる過程で、かつての谷は埋められて東京低地が作られました。

この堆積物でできた低地の厚さ（2万年前までに削られた谷の深さ）は、江戸川区、江東区で40メートル（厚い所で60メートルくらい）もあります。葛西教室も2万年前の地上から見れば40メートルの上空にあることになりすね（6千年前には海の底ですが）。

この東京低地を流れている川が、江戸時代以降どのように変化してきたのかを見てみたいと思います。

明治になって鉄道が作られるようになるまで、物資の輸送は川によって行われていました。江戸に幕府が開かれると、関東平野では物資の輸送のために、運河の開削や河川の改修工事が、おこなわれました。主なものは「小名木川開削」「荒川の瀬替え」と、「利根川の東遷」です。そして大正時代（1912～1926）には洪水を防ぐために荒川放水路が建設されました。

#### 《小名木川》

現在は隅田川と荒川を結ぶ川ですが、千葉の行徳の塩を江戸に運ぶために徳川家康が入府後すぐに開削させた運河です。

#### 《荒川の瀬替え》

現在の荒川は東京都の北部と埼玉県に降った雨を集めてきます。東京都に入った所で、隅田川とわかれていますが、隅田川は荒川の支流に見えます。荒川と隅田川の分岐点から荒川を遡っていくと、川越市で荒川本流と入間川にわかれます。入間川と荒川の合流は江戸時代に改修工事によってなされました。それまでは入間川も荒川も、それぞれ東京湾まで流れていました。入間川は現在の隅田川となっていますが、東京湾に流れていたそれまでの荒川は、現在は元荒川という名で、埼玉県内を京浜東北線の東側を南下して、中川となり、現在の荒川の河口の手前で合流しています。東西線で荒川を渡る時に北側は見えますが、高速道路の橋脚のために作られたように見える堤防の東側の細い川が中川です。



荒川と入間川を川越で合流させたことにより、川の流量は安定します。幕府の重要な直轄地の川越から江戸への物資の輸送に貢献したとおもいます。

後で述べますが、この時はまだ東京低地を流れる現在の「荒川」（隅田川との分岐点から河口までの荒川）は存在しません。

#### 《利根川の東遷》

利根川は群馬県全体と栃木県西部に降った雨を集めて東を進みます。千葉県と茨城県の県境となつて銚子市の犬吠埼で海へ注いでいる関東平野最大の川です。利根川から別れて南下し、東京湾に注ぐ新中川と江戸川は、利根川の支流のように見えます。しかし、この利根川は江戸時代までは東京湾へ流れていました。犬吠埼へ流れている川は、栃木県の東部と茨城県の西部の雨を集めてくる鬼怒川と小貝川が合流した川でした。この川に利根川をつないで犬吠埼へ流れていく川にしました。

この工事の目的も川を物資の輸送に使うためです。この工事によって犬吠埼から江戸川の河口まで「川」でつながりました。江戸時代は本州の周りは廻船で結ばれ、物資が輸送されていました。帆船しかない時代に犬吠埼から房総半島を回って、黒潮に逆らいながら東京湾に入るのはとても難しくかつ危険でした。そのため内陸の輸送路（川）が望まれました。江戸川の河口までくればあとは「小名木川」で江戸まで直行です。この輸送路の確立で、江戸と関東、東北地方の太平洋沿岸との輸送は効率よくなりました。

#### 《荒川放水路》

隅田川と荒川の分岐点から下流の荒川は大正時代に作られた人工の河川です。東京低地は明治時代に洪水の被害を受けました。その対策として「荒川放水路」が建設されました。放水路とはいえ東京低地最大の河川です。江戸時代は川の流量を安定させ「輸送路」として維持することが優先されましたが、明治時代には「洪水を起こさないこと」が優先課題となりました。

「荒川放水路」は現在、正式名称も「荒川」となっています。

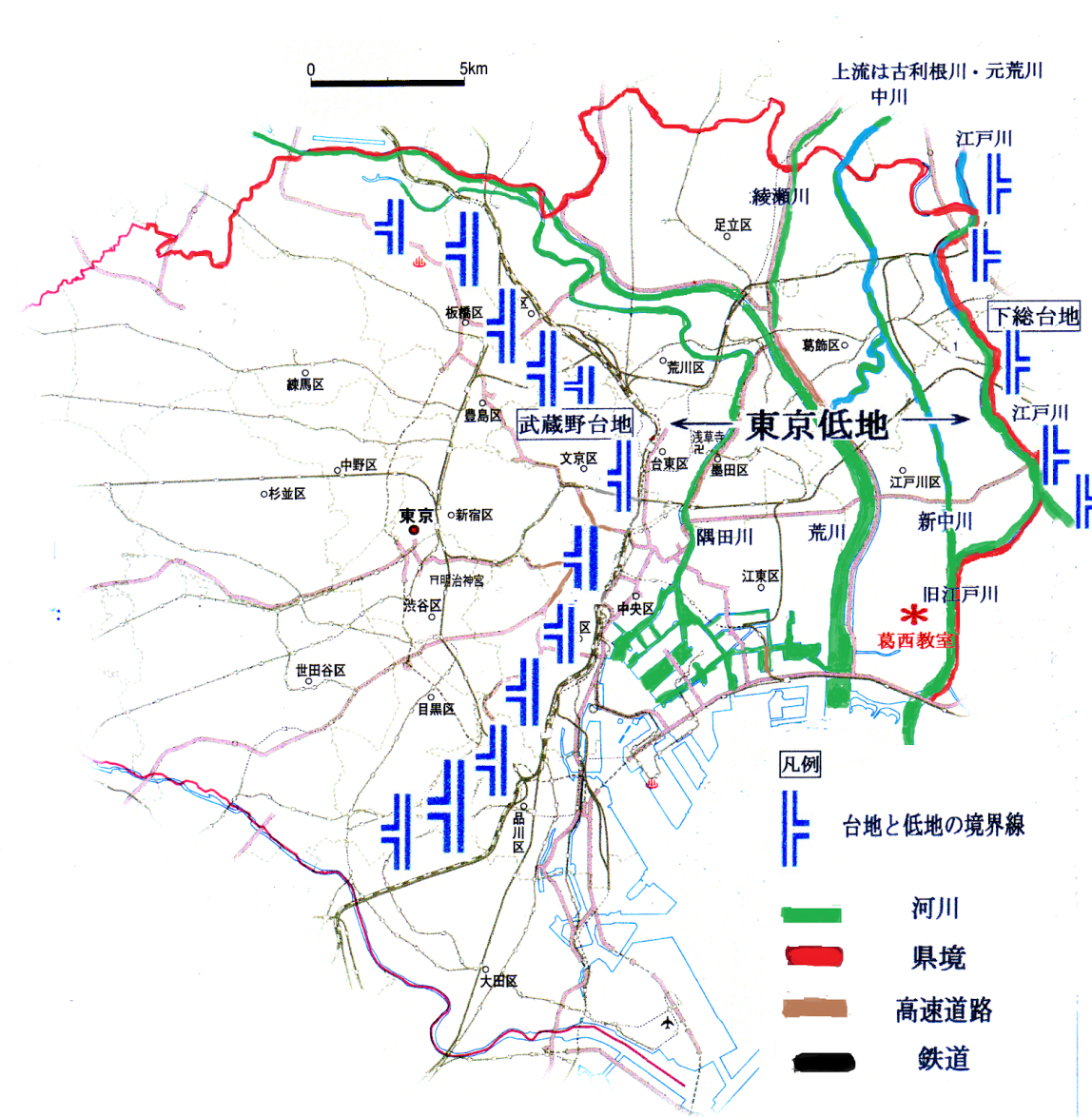
荒川放水路が作られてから、荒川が氾濫して東京低地が洪水に見舞われたことはありません。しかし昭和22年（1947年）にカスリーン台風（日本は占領下だったので台風も米国風に名前が付けられていました）で利根川が氾濫してその水が南下、葛飾区と江戸川区の両区全域が床上浸水するということが起こりました。数日水が引かなかったそうです。

新中川を上流に遡って行くと埼玉県内で古利根川という名前になります（東京湾へ利根川が流れていた時の名残ですね）。この流域も、並行する元荒川、綾瀬川流域も土地が低いので水害に悩まされてきました。その対策として平成に「首都圏外郭放水路」が作られました。これは地下に作った放水路で、大雨が降った時に地上の川で処理しきれない雨水をトンネルで東の江戸川へ排水する施設です。「春日部の地下神殿」という名で聞いたことがある、という人の方が多いかもしれません。



対策がいくら進んでも、台風や、いわゆる「ゲリラ豪雨」で水害の可能性はどこに住んでいてもあります。東京低地では1947年以来洪水は起こっていませんが、その可能性はいつでもあります。言うまでもなく川は私たちに生活用水や農業用水を与えてくれています。水辺は気持ちのいい場所です。しかし川は氾濫すると非常に危険です。穏やかな時には荒れた時の姿を想像できない、という点では海と同じです。地震だけでなく水害のことも意識してほしいなと思います。

川に対する興味がその第一歩だと思いましたのでこんなことを書きました。最後まで読んでくださいますようお願いいたします。



| 月 | 日  | 曜 | 受付      | 本科生スケジュール |         |          |          | 本科生以外の方対象のイベントなど |  |
|---|----|---|---------|-----------|---------|----------|----------|------------------|--|
| 4 | 26 | 水 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 27 | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 28 | 金 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 29 | 土 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 30 | 日 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
| 5 | 1  | 月 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 2  | 火 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 3  | 水 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 4  | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 5  | 金 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 6  | 土 | 14 ~ 22 |           | 休講      |          |          |                  |  |
|   | 7  | 日 | 10 ~ 20 | 5月度①      |         | 2V 月例テスト | 1V 月例テスト |                  |  |
|   | 8  | 月 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 9  | 火 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 10 | 水 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 11 | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 12 | 金 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 13 | 土 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 14 | 日 | 10 ~ 20 | 5月度②      |         |          |          |                  |  |
|   | 15 | 月 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 16 | 火 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 17 | 水 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 18 | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 19 | 金 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 20 | 土 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 21 | 日 | 10 ~ 20 | 5月度③      |         |          |          |                  |  |
|   | 22 | 月 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 23 | 火 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 24 | 水 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 25 | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 26 | 金 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 27 | 土 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 28 | 日 | 10 ~ 20 | 6月度①      | 3K月例テスト | 2K月例テスト  | 2V月例テスト  | 1V月例テスト          |  |
|   | 29 | 月 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 30 | 火 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 31 | 水 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
| 6 | 1  | 木 |         | 休室        |         |          |          |                  |  |
|   | 2  | 金 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 3  | 土 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |
|   | 4  | 日 | 10 ~ 20 | 6月度②      |         |          |          |                  |  |
|   | 5  | 月 | 14 ~ 22 |           |         |          |          |                  |  |